

Title	紫外線に依る古文書の鑑定
Sub Title	
Author	高山, 定雄(Takayama, Sadao)
Publisher	三田史学会
Publication year	1932
Jtitle	史学 Vol.11, No.3 (1932. 10) ,p.157(485)- 157(485)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19321000-0157">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19321000-0157</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 紫外線に依る古文書の鑑定

高山 定雄

科學文明の發達に伴ひ、紫外線の應用は古文書の鑑定に迄利用されるに到つた。

此の方面の試みは、一九〇八年前後にはじまるが、其後著しい研究の進展は見られなかつた（併し獨逸の Dr. Mente, Dr. Koegel, 等の研究がある。）最近に於ける英國 Mansfield 氏の羊皮紙古文書に就ての紫外線寫眞の成功は、こゝに新しい刺戟を與へたものと言へよう。

我國では、私の知る範圍に於て、未だこの方面の研究發表が出てをらないようである。そこで私は歐洲に於ける羊皮紙古文書の紫外線寫眞の研究報告に暗示を得て、我が古文書に就て紫外線鑑定を企て、昨秋より研究を進めて來たが、今度漸く

その効果を見るに到つたので、第一回の研究發表を去る十月六日の三田史學會第二百十九回例會に於て行つたのである。

外國の先例は、肉眼に於て螢光を識別する鑑定及紫外線寫眞に依る鑑定であるが、私はこの兩者の他に更に紫外線顯微鏡に依る鑑定法をも行ひ、又その効果を豫想される光電管 Photoelectric tube を利用したる紫外線鑑定法を新しくこゝに提唱したのである。